

## 2 ワークショップの結果

出された意見をテーマごとに分類した結果を下記に示します。

### 1 通学路に関すること

#### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	○成田中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○久住中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が遠い</li> <li>・通学路で危険な箇所が多い</li> <li>・バス通学で体力が付かない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・バス通学で体力が付かない</li> <li>・通学路の歩道がない</li> <li>・集団登下校が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が遠い</li> <li>・送迎の親への依存が強い</li> <li>・登下校の安全が心配</li> <li>・自転車の乗り方が悪い</li> <li>・バス通学で体力が付かない</li> <li>・部活動の時間と登下校時の安全面の確保が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の道のりの安全面が心配</li> <li>・学区が広いため、通学が大変</li> <li>・車での送迎が多く、体力づくりの観点から心配</li> <li>・中学生の部活終了後の帰宅時の安全性が心配</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童専用の道路をつくる</li> <li>・通学路の整備、舗装をする</li> <li>・スクールバスを作る</li> <li>・小学校も自転車通学にする</li> <li>・地域の人にボランティアでパトロールしてもらう</li> <li>・集団下校を増やす</li> <li>・冬の下校時間をもう少し早くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路の安全面での配慮がほしい</li> <li>・通学路の環境整備</li> <li>・スクールバスの充実（中学生も乗れるようにする）</li> <li>・小型の自動車を使って、自宅の近くまで送迎できるようにする</li> <li>・バス通学を自転車通学にする</li> <li>・交通安全指導を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常時使えるスクールバスの整備</li> <li>・地域の方やPTAと協力したパトロールの実施</li> <li>・警察と連携した交通安全教室の実施</li> <li>・中学校も遠距離の子はバス通学にする</li> <li>・通学路を整備する</li> <li>・小学校で集団登下校を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の協力による見守り活動の実施</li> <li>・小学生の集団登下校の実施</li> <li>・自転車専用の歩道の整備</li> <li>・通学路の整備</li> <li>・通学指導の実施</li> </ul>

#### ②まとめ

通学路については、「学校が遠い」、「通学路の安全」、「スクールバスと自転車の利用」に関する意見が多く出されました。

今後については、登下校時の安全の確保に関する取り組みが重要であるとの意見が多くなっています。

## 2 部活動に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	○成田中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○成田中学校区 ○久住中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○吾妻中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○久住中学校区 ○吾妻中学校区 ○大栄中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活の指導者がほしい</li> <li>部活の種類が少ない</li> <li>部活の時間が短い</li> <li>部活に真面目に取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒、児童数が少ないので競争心が芽生えない</li> <li>部活の時間が長くてなかなか勉強できない</li> <li>なくなってしまう部活動がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって部活にかけている時間が違う</li> <li>学校の生徒数によって困難な部活がある</li> <li>部活の指導者がいない</li> <li>部活の顧問が先生方の負担になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の人数が少ない</li> <li>中学校の部活の数が少ない</li> <li>下校時間の関係で部活動の時間に制限がある</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活でタブレットを使いたい</li> <li>部活の種類を増やす</li> <li>土曜日に部活をやる</li> <li>部活の時間を増やす</li> <li>指導者に地域の人や保護者、大学生を活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動の顧問を経験者の先生にお願いする</li> <li>地域の人材を活用する</li> <li>残す部活を早く決める</li> <li>ない部活は別の中学校と合同で実施する</li> <li>部活動の時間を確保する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人材を活用する</li> <li>部活の種類を増やす</li> <li>中学校の部活の格差をなくす</li> <li>部活の学校単位からの脱却</li> <li>複数の学校で部活の合同実施</li> <li>小学生の活動する運動チームが近くにあるとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人材を活用する</li> <li>小中学校で部活の交流の実施</li> </ul>

### ②まとめ

部活動については、「部活数の減少」、「部活の指導者の確保」、「部活動の時間の確保」に関する意見が多く出されました。

今後については、他校との合同による部活動の実施校をより拡大し、さらに、部活の時間数の増加、部活動の指導者への地域人材の活用などが必要な取り組みとして挙げられています。

### 3 英語教育・国際交流に関すること

#### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと外国の人と関わりをもちたい</li> <li>・英語の授業は週4～5日あるので十分である</li> <li>・空港が近いのにあまり活用できていない</li> <li>・英語の授業を小学校から実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育が充実している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を生活科で取っているので、生活科の時間が足りない</li> <li>・小学校は英会話なので、中学英語に入りやすい</li> <li>・英語教育が充実している</li> <li>・図書館に英語の本が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育が充実している</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の授業を小学校から徹底する</li> <li>・もっと使える英語を勉強する</li> <li>・授業で外国人との交流の機会を増やす</li> <li>・空港を利用した授業をする</li> <li>・実際に使える英語を勉強する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の英語教育を見直す</li> <li>・英語教育をもっと充実する</li> <li>・英語図書を充実する</li> <li>・英語でのコミュニケーション力を付ける</li> <li>・成田国際高校と連携をとる</li> <li>・外国人との交流機会や会話の機会を増やす</li> <li>・自分の意見を発表する場を与える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の英語教育を見直す</li> <li>・英語の教科化に向けて、教職員全員の意識を向上する</li> <li>・市や学校で研修を実施する</li> <li>・キャリア教育等で空港を活用する</li> <li>・図書館に英語の本を増やす</li> <li>・各学校のALTの配置を継続する</li> <li>・外国人との交流機会や会話の機会を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使う機会をつくる</li> <li>・英語教育をもっと充実する</li> <li>・空港を活用して語学力をつける</li> <li>・実際に使える英語を勉強する</li> <li>・高学年でフィールドワークを取り入れる</li> <li>・ボランティア活動等を通じて外国人との交流を推進する</li> <li>・英語でのコミュニケーション力を付ける</li> </ul>

#### ②まとめ

英語教育については、低学年から英語教育を実施していることを良いとする意見が多く挙がっています。今後はさらに実践で使える英語の学習、空港を活用した授業や外国人との交流機会の創出などが必要な取り組みとして挙げられています。

## 4 土曜授業に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○遠山中学校区 ○西中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区	○西中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区	○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日の授業が増えるのはよい</li> <li>土曜日は習い事があるので、授業はない方がよい</li> <li>部活に集中したいので、ない方がよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日は授業を実施してほしい</li> <li>半日でもいいので授業をしてほしい</li> <li>土曜日の授業が平日1日あたり1時限授業を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日の学校は習い事がネックである</li> <li>週休2日は子どもは賛成、保護者は反対している</li> <li>土曜日の授業がただの多忙化につながるのでは困る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日は習い事があるので、授業はない方がよい</li> <li>先生の負担が大きくなりすぎて、通常業務に支障が出そう</li> <li>家庭が面倒を見られないのであれば、土曜授業は仕方がない</li> <li>カリキュラムの多さから考えて、土曜授業はしてほしい</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日は体験授業を実施する</li> <li>1ヶ月に1回程度やるのはよい</li> <li>土曜日に授業をしなくてもいいように、平日の授業を充実する</li> <li>全部の学校で違う授業をし、好きな学校に行けるようにする</li> <li>授業でわからなかったことをきける教室にする</li> <li>出たい人だけで出るようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日に補習授業を実施する</li> <li>土曜日の科目は選択制にする</li> <li>土曜日は体験授業を実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日は、午前中に勉強、午後に部活がよい</li> <li>土曜日に半日授業を復活する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜日は先生ではなく、退職されたボランティアに頼む</li> <li>参加型の授業にする</li> <li>希望者に試験的に実施する</li> <li>土曜日は体験授業を実施する</li> <li>地域との交流を持つ時間にする</li> </ul>

### ②まとめ

土曜日の授業の実施については、賛成反対どちらの意見も出されました。反対としての意見は、すでに部活や習い事が入っているので、難しいとの意見が多く挙げられています。賛成の意見としては、通常の授業実施の他に、体験型授業、補習、隔週での実施など、様々なアイデアが挙げられています。

## 5 ICT（パソコン・タブレットなど）に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中中学校区</li> </ul>
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンやタブレットを使った授業を試みたい</li> <li>・タブレットはなくても困らない</li> <li>・パソコンルームやテレビが活用されていない</li> <li>・パソコンのルールを先生が決めている</li> <li>・ICT授業は先生がやり方がわからないと授業にならない</li> <li>・パソコンを使った授業は分かりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット教育の功罪</li> <li>・スマホ中毒で漢字に弱くなるのではないか</li> <li>・子どものスマホ（特にLINE）の使い方について</li> <li>・情報量に押しつぶされない教育現場のあり方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像教材の普及で教育力をアップしたいが、自分にはうまく使えない</li> <li>・学校に十分な備品の数がそろっていない</li> <li>・ICTはあるが、あまり活用されていない</li> <li>・特別教室の環境も大切にしてほしい</li> <li>・必要ないのではないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホ等でのいじめがある</li> <li>・コミュニケーションが取れない</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でタブレットを活用する</li> <li>・先生がデジタル教科書を使うのは良いが、生徒は書かないと覚えないので使用しない方がよい</li> <li>・パソコンは将来も使うので、今のうちから使えるようにする</li> <li>・使いすぎないようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの導入</li> <li>・PC等の最新技術の習得、導入</li> <li>・家庭でのコミュニケーションを大切にする</li> <li>・専門的なアドバイスをもらい、どうするかみんなで考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線LANを導入する</li> <li>・デジタル教科書の導入</li> <li>・各学校間の情報やデータなどの共有</li> <li>・校務を電子化する</li> <li>・学校事務用のソフトを市内共通で使えるようにする</li> <li>・ICT教育専門の職員を配置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育を指導する</li> <li>・スマホの使い方を親も勉強する</li> <li>・家庭、学校での決まりをつくる</li> </ul>

### ②まとめ

ICTについては、将来の活用を見据えて、さらなる推進を希望する声があるものの、情報化の進展に伴う課題についての意見も挙げられています。また、教職員からは、ICTを行うための校内の環境整備と校務へのICTの導入を希望する声が挙げられています。

## 6 学校の設備に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館が狭い</li> <li>・雨の日に室内で遊べるものがない</li> <li>・プールがない</li> <li>・トイレが汚い</li> <li>・遊具が足りない</li> <li>・教室が足りない</li> <li>・教室の環境がよい</li> <li>・図書館の本の種類や量が少ない</li> <li>・図書館を利用している人が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の学校により、設備等に格差がある</li> <li>・校舎が古くて暗い</li> <li>・図書室の本の数量が学校により格差がある</li> <li>・施設の不備を子どもたちが見抜いている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての学級にエアコンがある</li> <li>・設備、施設に恵まれている</li> <li>・市内の学校により、設備等に格差がある</li> <li>・恵まれている環境で育っているため、物を大切にする心が育つか</li> <li>・教室数が足りない</li> <li>・グラウンドが狭い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の校舎が足りない</li> <li>・恵まれている環境で育っているため、物を大切にする心が育つか</li> <li>・設備、施設に恵まれている</li> <li>・校舎が古い、汚い</li> <li>・図書室の本が少ない</li> <li>・校庭が狭い</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みにプールを開放する</li> <li>・放課後にグラウンドを開放する</li> <li>・新しい遊具を、児童からアンケートをとって増やす</li> <li>・動物を飼育する</li> <li>・空き教室を交流の場にする</li> <li>・校内の設備を充実する</li> <li>・雨の日に教室で昔遊びをする</li> <li>・トイレ掃除の回数を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の設備を充実する</li> <li>・予算を増やす</li> <li>・市の予算配分を子ども優先にする</li> <li>・校舎を増設する</li> <li>・市と協議する場を持つ</li> <li>・子どもの要望、アンケートをとる</li> <li>・学校のプールを開放する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を把握し、予算計画を立てる</li> <li>・校舎を増築する</li> <li>・授業のために武道場を設置する</li> <li>・図書室の本を充実させる</li> <li>・市内の学校の格差をなくす</li> <li>・特別教室にエアコンを設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内の設備を充実する</li> <li>・リクエスト図書を活用する</li> <li>・各学校で自由に使える予算を増やす</li> <li>・学校のプールを開放する</li> <li>・備品等を支給する</li> </ul>

### ②まとめ

学校の設備については、成田市は他に比べて充実しているとの声が挙がっている一方で、さらなる充実を望む声も多く挙がっています。特に、児童生徒からは遊具や雨の日の遊び、プールやグラウンドの開放、図書室の充実に関する要望が多く挙がっています。

## 7 交流・学校行事に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にいろいろな行事がある</li> <li>・地域の人とのかかわりがあまりない</li> <li>・たてわり班があり、いろいろな学年と交流ができる</li> <li>・集団下校がある</li> <li>・学校と地域のつながりがよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわり班があり、いろいろな学年と交流ができる</li> <li>・学校にいろいろな行事がある</li> <li>・行事のあとの休みが多い</li> <li>・バザーを実施する目的が不明である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校にあがることに不安がある</li> <li>・たてわり班があり、いろいろな学年と交流ができる</li> <li>・地域が協力してくれる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にいろいろな行事がある</li> <li>・友だち同士の関わり方、遊び方がうまくいかない子がいる</li> <li>・小中連携をもう少ししてほしい</li> <li>・地域の方に頼ってしまっている</li> <li>・学区が広く地域間の交流が難しい</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の交流を行う</li> <li>・他校と関わる機会を増やす</li> <li>・低学年と高学年の交流を増やす</li> <li>・国際交流する機会を増やす</li> <li>・地域全体で交流する場を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学生の交流を行う</li> <li>・他校と関わる機会を増やす</li> <li>・低学年と高学年の交流を増やす</li> <li>・学校行事に地域の方を招く</li> <li>・中学校の部活動見学会を実施する</li> <li>・バザーを文化祭にする</li> <li>・ボランティアなどによる地域との交流を実施する</li> <li>・各学校のよいところを真似する</li> <li>・このような意見交換会を定期的実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人のつながりの場を意図的に設定する</li> <li>・小中学生の交流を行う</li> <li>・他校と関わる機会を増やす</li> <li>・学校に地域交流ルームをつくる</li> <li>・地域交流コーディネーターを校内に配置する</li> <li>・保育園、幼稚園の職員との情報交換を実施する</li> <li>・地域住民にとっても「私たちの学校」と思えるような取り組みを実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年、メンバーを超えた活動を作る</li> <li>・自分の暮らす街を大切にすることを育てる</li> <li>・小中学生の交流を行う</li> <li>・他校と関わる機会を増やす</li> <li>・世代間交流を行う</li> <li>・学校行事の内容について、生徒、保護者の意見を広く聞いて見直す</li> <li>・地域の人に講師をお願いし、交流する</li> </ul>

### ②まとめ

交流・学校行事については、各校とも様々な行事や学校内での交流活動を実施しているとの意見が挙げられました。一方で、小学校と中学校、他校、地域との連携を深めたいとの意見が多く挙げられています。

## 8 給食に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○中台中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○吾妻中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○大栄中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残飯が多い</li> <li>・給食の量のバランスが悪い</li> <li>・給食のメニューに和風が多い</li> <li>・給食があまりおいしくない</li> <li>・給食が冷めていることがある</li> <li>・牛乳嫌いが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残飯が多い</li> <li>・給食があまりおいしくない</li> <li>・給食が冷めていることがある</li> <li>・給食の量のバランスが悪い</li> <li>・給食のメニューが地域で違う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残飯が多い</li> <li>・給食のメニューに和風が多い</li> <li>・給食の量のバランスが悪い</li> <li>・給食はおいしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食のメニューが子ども受けしない</li> <li>・給食のメニューを工夫してほしい</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の量やメニューをもっと考える</li> <li>・給食に生徒の意見を取り入れる</li> <li>・小学生と中学生の給食を別にする</li> <li>・学校で給食をつくる</li> <li>・他学年と給食で交流をする</li> <li>・給食をバイキングにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で給食をつくる</li> <li>・給食に地元の食材を使う</li> <li>・給食のメニューを和食中心にし、たまに変わったメニューにする</li> <li>・給食費を無料化する</li> <li>・給食を通じた食育の発展</li> <li>・業者を変える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食委員会の設置</li> <li>・栄養士をローテーションする</li> <li>・郷土料理を給食に出す</li> <li>・「早寝早起き朝ごはん」運動の推進</li> <li>・給食センターの仕事内容を知る</li> <li>・午前中にお腹が空くので、軽食を取る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費を公費から出す</li> <li>・栄養士をローテーションする</li> <li>・情報交換を行う</li> <li>・給食以外に間食の時間をつくる</li> </ul>

### ②まとめ

給食については、あまりおいしくない、冷めている、量のバランスが悪い、残飯が多いなどのマイナスな意見が多く挙がっています。

今後については、給食を学校でつくる、児童生徒の意見を取り入れる、地元の食材を使い食育を行うなどの意見が挙げられたほか、児童生徒からは給食の時間を活用した他学年との交流のアイデアが出されました。



## 9 小中一貫教育に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区	○下総中学校区 ○大栄中学校区	○玉造中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○下総中学校区 ○大栄中学校区	○玉造中学校区 ○下総中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で運動会を実施している</li> <li>・学年の差があまりない</li> <li>・全校みんなが仲よし</li> <li>・6年生が中学生に頼れてしまう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下関係が弱い</li> <li>・地域性があり、旧小学校間のまとまりに時間がかかる</li> <li>・合併したらPTA活動は盛んになるが、意見がぶつかり合うのではないか</li> <li>・6年生がリーダーシップを発揮できる場がなくなるのではないか心配</li> <li>・交流はあっても教育は別々に行うべきである</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数で過ごした子どもは大勢になることが不安</li> <li>・行事が画一化され、つまらなくなるのではないか</li> <li>・小中学生の時間の使い方が違うのではないか</li> <li>・教職員の時間の確保はどうなるのか</li> <li>・小5ギャップがある</li> <li>・小5・6年生と小1年生の関わる機会がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校はメリットがある</li> <li>・たてわりでの掃除で先輩がよく指導をしている</li> <li>・小6から中1がスムーズに上げれる</li> <li>・中学生と小学生の壁がなく、声を掛け合っている</li> <li>・小中一貫校には賛成である</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中の行事をわけける</li> <li>・6年生という自覚を自分でもつ</li> <li>・学年の合同授業をもっと増やす</li> <li>・先生と相談し、学年で話し合う時間をつくってもら</li> <li>・小中一貫校になっても制服、伝統行事を残す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫校のメリットとデメリットを知る</li> <li>・異学年の子どもが交流できる機会をつくる</li> <li>・小中一貫校になっても制服、伝統行事を残す</li> <li>・スクールバスを充実する</li> <li>・かけこみ相談室を設置する</li> <li>・相互理解をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を計画的に実施する</li> <li>・中学生にもスクールバスを導入する</li> <li>・地域の良さを洗い出した教育計画を立案する</li> <li>・みどり学園の様子を見学する</li> <li>・小中別の活動を充実する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が小学生の学習を指導する</li> <li>・小中は同じ校舎で過ごす</li> <li>・高校まで地域で生活する</li> </ul>

### ②まとめ

現在小中一貫教育を実施している下総中学校区からは、小中一貫校であることで、全校生徒の仲が良い、学年の差があまりないというプラスの意見と6年生としての自覚が芽生えにくい、小5ギャップがあるなどの特有の課題が挙げられました。また、今後、統合を検討している中学校区からは、メリット・デメリットを知りたい、伝統行事を続けてほしい、下総みどり学園の見学がしたいなどの意見が挙げられました。

## 10 学校の規模・学区に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区	○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○大栄中学校区	○成田中学校区 ○遠山中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに住んでいる友達が少ない</li> <li>・学区が狭いので、友だち同士で遊びにいける場所が限られてしまう</li> <li>・学校の学区が狭い</li> <li>・中学校に入学したときの学区による関係性が浅い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模校の児童が多すぎる</li> <li>・市内で児童数の差がありすぎる</li> <li>・少人数のため、6年間クラス替えができない</li> <li>・児童数の問題でできない行事がある</li> <li>・学力や運動能力に差がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模校のメリットもある</li> <li>・単学級はメリット、デメリットどちらもある</li> <li>・家庭数が少ないので、PTAを探すのが大変</li> <li>・地域の子どもの数を増やしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競争できる環境が必要ではないか</li> <li>・人数が少ないので、雰囲気が良い</li> <li>・単学級で人のかかわりが少ない</li> <li>・同中学校区内でも小学校の人数に差がある</li> <li>・PTA役員の確保が難しい</li> <li>・小規模校は全員の名前が覚えられる</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の人数を増やす</li> <li>・学区を広くする</li> <li>・遊びにいける範囲を広くする</li> <li>・楽しいイベントや施設をつくり、人が集まるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区を見直す</li> <li>・小学校と中学校を統一する</li> <li>・他の地域の成功例を参考にする</li> <li>・希望する学校に行けるようにする</li> <li>・同じ小学校から2つの中学校に行かないように区域の違いをなくす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区を見直す</li> <li>・小学校の整理、統合を進める</li> <li>・中学校の学区の見直しを短期間で行う</li> <li>・自分のやりたいことを学べる環境づくり</li> <li>・小中一貫校をつくる</li> <li>・発達段階に応じた教育の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区を見直す</li> <li>・同じ小学校から2つの中学校に行かないように区域の違いをなくす</li> <li>・学校間の交流を計画的に行う</li> <li>・少子化対策を行う</li> <li>・生徒数に応じた教育の確立</li> <li>・学区編成の際には保護者の意見も取り入れる</li> </ul>

### ②まとめ

学校の規模については、小規模校・大規模校双方から様々な意見が挙げられました。小規模校では雰囲気が良い、顔が見えるなどのメリットがあるものの、人とのかかわりが少ない、できない行事があるなどのデメリットも多く挙げられました。

今後については、市内の児童生徒数の格差を是正するため、学区の見直しや小中一貫校の設置、学校の整理・統合に関する意見が挙げられました。また、少子化対策を行い、子ども自体を増やすというアイデアも挙がっています。

# 11 学校のルール・授業全般に関すること

## ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> </ul>
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守らない人がいる</li> <li>・先生によってクラスのルールが違う</li> <li>・休み時間が少ない</li> <li>・読書時間が少ない</li> <li>・宿題をやらない人がいる</li> <li>・学校のルールでわかりにくいところがあるので、確認したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンスクールなど、授業参観以外の子ども様子が見られてよい</li> <li>・放課後の時間が少ない</li> <li>・遊ぶ時間が少ない</li> <li>・学校設備の開放（放課後）についての認識に違いがある</li> <li>・生き物との触れ合いに制限がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物を飼いたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制服があまり活用されていない</li> <li>・不登校、引きこもりがいる</li> <li>・先生によって宿題の量が異なる</li> <li>・体力が低下している</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書時間を増やす</li> <li>・業間休みやロング昼休みをつくる</li> <li>・ルールを守らなかったときのペナルティを重くする</li> <li>・自分の行動に気を付けていじめを少なくする</li> <li>・生徒の意見を聞いてルールを決める</li> <li>・自主学習の時間を短くする</li> <li>・全員が発表できる環境にする</li> <li>・道徳の授業を増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校側と児童、保護者側との間の考え方を統一させる</li> <li>・児童生徒、保護者向けのルール看板を設置する</li> <li>・たてわり教育を実施する</li> <li>・上級生が下級生の面倒をみる</li> <li>・小学校で読み聞かせを続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と触れ合う機会を増やす</li> <li>・曜日を決めて昼寝をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業を強化する</li> <li>・クラスの子ども達に共通の教育を行う</li> <li>・思いやりを持てる人材を育成する</li> <li>・若年教師を対象とした道徳指導に関する研修を充実する</li> <li>・人としての礼儀を身に付ける授業を増やす</li> </ul>

## ②まとめ

学校のルール・授業全般については、各中学校区から様々な意見が挙げられました。児童生徒からは休み時間や読書時間に関すること、ルールを守ることについて、地域の方からは道徳教育に関する意見が挙げられています。

## 12 あいさつ・仲の良さに関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区	○成田中学校区 ○中台中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区	○西中学校区 ○玉造中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区 ○公津の杜中学校区	○遠山中学校区 ○中台中学校区 ○吾妻中学校区 ○玉造中学校区 ○大栄中学校区	○久住中学校区 ○西中学校区 ○中台中学校区 ○下総中学校区 ○大栄中学校区
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ運動を実施している</li> <li>・あいさつの声が小さい</li> <li>・児童生徒の仲がよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつができている子どもたちが多い</li> <li>・校長先生の姿勢がすばらしい</li> <li>・先生に熱意がある</li> <li>・仲のよい学校である</li> <li>・子どもたちが笑顔</li> <li>・家庭のしつけを学校の先生に求めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人数が少ないので、みんな仲がよい</li> <li>・あいさつが礼儀正しい</li> <li>・純朴で優しい子どもだが、将来社会の荒波に耐えられないのではないか</li> <li>・子どもたちが親や先生に対して尊敬する気持ちを持っていない</li> <li>・先生の熱意を感じる（学級通信）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気なあいさつ</li> <li>・子どもが素直</li> <li>・仲がよい</li> <li>・小中合同のあいさつ運動はよい取り組みである</li> <li>・仲間意識が強い</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつがたくさん飛び交う学校にする</li> <li>・あいさつをすれば声が大きくなる</li> <li>・先生ともっと気軽に話ができるようにする</li> <li>・あいさつが増えるようにイベントを開く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生と保護者の連携を強化する</li> <li>・先生に子ども達を叱ってほしい</li> <li>・大人がしっかりあいさつをしているところを見せる</li> <li>・保護者は学校や先生を信頼し、学校は保護者に関心を持ってもらえるよう、積極的に働きかけを行う</li> <li>・あいさつを家庭でも教育する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝をもっと言えるようにする</li> <li>・児童生徒の落ち着きを継続させていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生との信頼関係を強くしてほしい</li> <li>・子育てという観点でいろいろな部署が連携してほしい</li> <li>・積極的に大人からあいさつをする</li> <li>・地区であいさつを実施する</li> </ul>

### ②まとめ

あいさつ・仲の良さについては、あいさつ運動などの実施により、あいさつができているとの意見が多く挙げられています。また、特に小規模校において、児童生徒の仲が良いとの意見も多く挙げられました。一方で、良い子が多いため、社会に出てからのことを不安視する意見も挙げられています。

今後については、大人からの積極的なあいさつを行う、あいさつを家庭で教育するなどのアイデアが挙げられています。

## 13 地域環境に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>
主な現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が多く、生き物がたくさんいる</li> <li>・自然が多いが、少し不便である</li> <li>・みんなで遊べる公園がない</li> <li>・同じ地域でも設備に違いがある</li> <li>・スクールガードのおかげで安心できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然はあるが、子ども達が使える場所が少ない</li> <li>・子どもの人口が少ない</li> <li>・保護者が他人事である</li> <li>・子どもの遊び場がない</li> <li>・地域活動への保護者の参加が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便が悪い</li> <li>・歴史が古く、自然が豊か</li> <li>・近くに同じ年くらいの子もがいない</li> <li>・共働きの家庭が多い</li> <li>・多忙でPTAに協力できない地域もある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な点で恵まれた中にある</li> <li>・地域の方の定義があいまい</li> <li>・公園でボール遊びができない</li> <li>・人口が減少している</li> <li>・環境を大切にしたい</li> <li>・地域の人材をどのように掘り起こすか</li> </ul>
今後必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然を生かす</li> <li>・公園をつくる</li> <li>・学校で遊ぶ</li> <li>・歴史で成田市を学ぶ</li> <li>・地域の人と木を植えるなど、地域活性化を図る</li> <li>・地域の人と学校行事として学校の外に行く</li> <li>・スクールガードの世代交代をする</li> <li>・帰ってきたくなるようなまちにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を守る意識を育てる</li> <li>・小学校を開放する</li> <li>・各校ごとに学童保育を設置する</li> <li>・地域の協力を得て、体験学習を実施する</li> <li>・地域みんなで子どもを育てる</li> <li>・スクールガードに見守ってもらう</li> <li>・若い人や地域の保護者の有志の集まりに協力してもらう</li> <li>・成田市らしい活動をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ごとに子どもが集まって遊べるスペース（公園）をつくる</li> <li>・地域人材リストを充実する</li> <li>・地域、保護者を巻き込むコーディネーター役を確保する</li> <li>・成田市の歴史を大切にする</li> <li>・地域全体の行事をつくる</li> <li>・学校を中心としたまちづくりを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動の機会を増やす</li> <li>・学校の校庭を活用する</li> <li>・外で遊ぶ機会を増やす</li> <li>・学校を中心としたまちづくりを行う</li> <li>・地域に密着した授業を行う</li> <li>・防災を強化する</li> <li>・地域が親の支えになる</li> <li>・地域人材をデータベース化する</li> </ul>

### ②まとめ

地域環境については、自然や歴史が充実している一方で、子どもの遊び場が少ないといった課題が挙げられました。また、今後の地域の活用方法については、人材のリスト化や体験活動の実施、学校を中心としたまちづくりなど、様々なアイデアが出されました。

## 14 学力に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区		<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠山中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○中台中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>
主な現状		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テストが嫌いだという子どもばかりではない</li> <li>・授業外での学校を利用した学力向上の取り組みがある</li> <li>・成田市の学力レベルを公表してほしい</li> <li>・家庭学習の習慣にクラス内で差がある</li> <li>・適度な競争は学習に必要である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事に追われている</li> <li>・一人ひとりに確かな学力を身に付けるためにはどうしたらよいか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ごとに学力の差がある</li> <li>・小学生の中学入学への不安が大きい</li> <li>・朝学習の必要な地域がある</li> <li>・学習機会の格差をなくす必要がある</li> </ul>
今後必要なこと		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的に勉強できるシステムをつくる</li> <li>・市内の学力格差をなくす</li> <li>・塾を無料化する</li> <li>・放課後に寺子屋のような一般の方の指導を行う</li> <li>・先生ではなく、地域の力を借りる</li> <li>・授業内容の見直し、取捨選択をする</li> <li>・家庭での学習習慣をつける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力をしっかりつけられる学校にする</li> <li>・放課後を活用した補習の実施</li> <li>・科学教育の推進</li> <li>・少人数、習熟度別の指導の実施</li> <li>・先進校を視察する</li> <li>・寺子屋のような環境を整備する</li> <li>・職員研修を実施する</li> <li>・授業を改善する</li> <li>・家庭学習の習慣化を市全体の取り組みにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金のような制度を活用する</li> <li>・家庭での学習をきちんとする</li> <li>・親が自覚を持つ</li> <li>・地域が先生役になる</li> <li>・教育格差を埋める施策が必要</li> <li>・放課後を活用した復習教室の実施</li> <li>・中学校区内の教育を統一化する</li> </ul>

### ②まとめ

学力については、市内で学習機会や学力に差があるとの意見が挙げられています。今後については、放課後や長期休暇を利用した学習機会の提供や家庭学習の習慣づけなど、市全体の学力を底上げするためのアイデアが多く挙げられています。

## 15 教職員の業務に関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった 中学校区			<ul style="list-style-type: none"> <li>○成田中学校区</li> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> <li>○公津の杜中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> </ul>
主な現状			<ul style="list-style-type: none"> <li>・多忙を感じる</li> <li>・学校に多くの希望が寄せられている</li> <li>・授業の準備の時間がない</li> <li>・指導書がほしい</li> <li>・調査や出張が多い</li> <li>・1年で交代してしまう先生が多い</li> <li>・準要、要保護家庭が増えたため、学校事務が多忙化している</li> <li>・部活動の大会が増え、練習時間が増加している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流行を追いすぎていて、教職員の負担が大きい</li> <li>・副担任の先生が異動すると、指導方法に差が出る</li> <li>・講師の任期が1年なのはなぜか</li> </ul>
今後必要なこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務処理作業の市内統一化</li> <li>・校務システムの充実</li> <li>・文書送付の精選</li> <li>・完全退勤時刻を設定する</li> <li>・少人数学級にし、負担を軽減する</li> <li>・専門教員の配置</li> <li>・教員の人数増</li> <li>・支援員の補充</li> <li>・業務と部活を切り離す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や教育委員会に上申する</li> <li>・講師の任期を含め、児童の立場を考慮したうえで規制を見直す</li> </ul>

### ②まとめ

教職員の業務については、多忙を感じている教職員が多く、特に部活動、学校事務、調査や出張などの増加が原因として挙げられています。

今後については、多忙感の解消のため、完全退勤時間の設定、事務処理の効率化や教員の人員配置に対する要望が挙げられています。

## 16 家庭環境などに関すること

### ①主な意見

	児童生徒	保護者	教職員	地域
意見が上がった中学校区			<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠山中学校区</li> <li>○久住中学校区</li> <li>○西中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遠山中学校区</li> <li>○吾妻中学校区</li> <li>○玉造中学校区</li> <li>○下総中学校区</li> <li>○大栄中学校区</li> </ul>
主な現状			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭によってルールが違うため、困っている</li> <li>・コミュニケーションが不足している</li> <li>・ささいな理由での欠席が多い</li> <li>・ご飯を食べていない子がいる</li> <li>・夜遅くまで子どもだけにいる家庭が増加している</li> <li>・核家族化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの睡眠時間が心配</li> <li>・生活環境の格差、家庭の問題、親の問題が大きい</li> <li>・学校によっても保護者の協力に格差がある</li> <li>・子どもの成長には家庭の協力は不可欠である</li> </ul>
今後必要なこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の教育力の向上</li> <li>・父親の教育への参加</li> <li>・幼い子どもを持つ親を育てる場が必要</li> <li>・スクールソーシャルワーカーの活用</li> <li>・「与える」から「一緒に歩む」</li> <li>・自然体験活動や宿泊学習でたくまさを育む</li> <li>・親を恐れずに実態を知らせる</li> <li>・学校と家庭のつながりを増やす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ基本的な育て方などを啓発する</li> <li>・生徒を先生に丸投げするのではなく、家庭でも子どもたちの話を聞く</li> <li>・学校にすべてを持ち込まないようにする</li> <li>・母親だけではなく、父親も学校に関われる受け皿をつくる</li> <li>・子どもと親、先生の相互理解を深める</li> <li>・学校は確かな学力をつける場にし、しつけは家庭で行う</li> </ul>

### ②まとめ

家庭環境については、家庭で行うべきしつけが学校にまかされている、多様な問題を抱えた家庭が増えているという意見が挙げられています。今後は、親や家庭の教育力の向上、学校と家庭のつながりを強化するといったアイデアが出されています。